



「(仮称) 清水いはら道の駅」

第1回・第2回社会実験結果報告書（総括）

中部横断自動車道が山梨県まで開通したことを契機に、「(仮称) 清水いはら道の駅」の整備を仮想したイベント形式による社会実験として、次の事項を目的に延2回を開催した。

なお、社会実験では、「(仮称) 清水いはら道の駅」の目指す姿として描かれた将来図に示された各機能に関するブースを設け、販売や情報発信、並びにアンケート調査等を実施した。

- ①主なターゲット層の意向把握等データの収集
- ②庵原地区及び清水区、静岡市の魅力の発信
- ③新たな「道の駅」実現に向けた地域や行政等関係機関等の機運醸成

第1回実験の概要

- ◇名称 「リベンジ第1回清水いはらフェス」～たった1日の“道の駅”・乞うご期待！～
- ◇実施期日 令和4年5月21日（土） 10時～16時 天候：雨のち曇り
- ◇実施場所 静岡市清水庵原球場プロムナード及び清水農業協同組合営農振興センターきらり

第2回実験の概要

- ◇名称 「第2回清水いはらフェス」～たった1日の“道の駅”・再び出現！～
- ◇実施期日 令和5年1月29日（日） 10時～15時 天候：晴
- ◇実施場所 静岡市清水庵原球場プロムナード及び駐車場 ※来場者駐車場：サブグラウンド、バイパス用地

実験結果の要点①

項目	第1回	第2回
来場者総数	約2,000人	約3,500人
エリア別来場者数	庵原地区…… 365人 (34%)	庵原地区…… 658人 (22%)
※第1回：来場者カードの集計	清水区…… 461人 (42%)	清水区…… 1,515人 (50%)
※第2回：受付での聞取り数	葵・駿河区… 167人 (15%)	葵・駿河区… 599人 (20%)
	県内…… 69人 (6%)	県内…… 184人 (6%)
	山梨県…… 18人 (2%)	山梨県…… 37人 (1%)
	長野県…… 0人 (0%)	長野県…… 2人 (0%)
	その他県外… 7人 (1%)	その他県外… 29人 (1%) *他国外：2
食・農おもてなしコーナー	◇出店者数：22店舗 農産：13、水産：2、飲食：7 ◇総売り上げ：約1,250,000円 1店舗当たり：約60,000円	◇出店者数：42店舗 農産：12、水産：6、飲食：23 ◇総売り上げ：約3,751,000円 1店舗当たり：約91,000円
イベントコーナー	道の駅構想のうち、販売を除く5つの機能をコーナーとして試行したが、雨模様だったこと、出展スペースが狭かったことなどから、十分な参加が得られなかった。	◇健康・スポーツ交流コーナー 眺望満喫ウォーキングに約100人が参加し、参加者が一様に感動・感激 ◇ステージコーナー 運営体制に課題はあるが「清水いはらを意識した楽しいステージ空間」づくりをコンセプトとした舞台は盛り上げに寄与 ◇各種紹介コーナー 用意した配布物が不足するなど、庵原・清水の魅力を発信できた ◇広域防災コーナー 子供たちを含め多くの参加が見られた

実験結果の要点②

項目	第1回	第2回
会場設営関係	<ul style="list-style-type: none"> ◇会場が2ヶ所のため、受付体制の確保、開催中の移動や連絡が困難 ◇会場案内看板の設置や交通誘導体制の強化などの課題が浮彫り 	<ul style="list-style-type: none"> ◇駐車場：正規分 300 台、臨時分 200 台を確保したが早々に埋まり引き返す車両あり グループ数換算で約 1,400 台駐車 ◇臨時駐車場からの来場者に受付をスルーするケースあり（入場者に社会実験の趣旨を告知する必要あり）
来場者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ◇情報源⇒チラシ：30%、ロコミ：24%、SNS：18%、ポスター：13% ◇参加企画⇒農水産物販売：39%、飲食：29%、ウォーキング：1% ◇イベントの印象⇒大変良い：32%、良い：59% ◇付近への道の駅整備⇒あったほうが良い：81% 	<ul style="list-style-type: none"> ◇情報源⇒チラシ：32%、ロコミ：21%、SNS：17%、ポスター：16% ◇参加企画⇒農水産物販売：45%、飲食：33%、ウォーキング：2%、ステージ：9%、展示紹介：9% ◇イベントの印象⇒良かった：54%、まあまあ良い：42% ◇付近への道の駅整備⇒あったほうが良い：83%
出店者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ◇付近への道の駅整備⇒あったほうが良い：82% ◇道の駅への参加⇒参加する：45%、参加しない：55% 	<ul style="list-style-type: none"> ◇付近への道の駅整備⇒あったほうが良い：81% ◇道の駅への参加⇒参加する：74%、参加しない：2%
広報関係	<ul style="list-style-type: none"> ◇広報実績：チラシ、ポスター、広報誌（庵原、JA）、HP、Facebook、YouTube など ◇報道実績（事前）：日本経済新聞、山梨日日新聞、NHKテレビ・ラジオ、山梨放送ラジオ ◇報道実績（事後）：静岡朝日テレビ（「とびっきり！しずおか」、Yahoo!ニュース他）、TOKAI ケーブルネットワーク ◇市内については、効果的な広報ができた反面、主なターゲットであった山梨・長野県からの来場者は僅少 ◇HP、各種SNSなどのIT手法を取り入れた広報の有効性が実証 	<ul style="list-style-type: none"> ◇広報実績：チラシ、ポスター、広報誌（静岡市、庵原、JA、リビング）、HP、Facebook、YouTube など ◇報道実績（事前）：静岡新聞、NHKテレビ・ラジオ、FMしみず、山梨放送ラジオ ◇報道実績（事後）：SBSテレビ（1/29、1/30、Yahoo!ニュース他）、静岡新聞（1/31、Yahoo!ニュース、関連記事②） ◇市内については、前回同様、効果的な広報ができた反面、山梨・長野県方面に関しては広報を拡充したものの来場者は微増に留まった。 ◇HP、各種SNSなどのIT関連の情報媒体の認知度・閲覧数の増加。
事業費	全体事業費（実績）430,087円	全体事業費（実績）728,984円



第1回社会実験の様子（2022.5.21）



第2回社会実験の様子（2023.1.29）

延2回の実験結果のまとめ（考察）

【イベントとして】

＜初回の経験を活かし、総論として前進があり、実験イベントとしての独自の実施パターンを確立＞

- ・構成プログラムの充実、出店者数の拡大、駐車場等来場者対応の拡充等の対応を踏まえ、初回を大幅に上回る来場者数を確保できたこと、午後の時間帯にかけても継続的な来場者が見られたこと、一方、大きなトラブルもなく終了でき、地域主導の社会実験イベントとしての地域ならではの独自手法が確立されたと評価できる。ただし、今後、同会場で展開する場合、駐車場の確保が最大の制約要因となる。

＜庵原地区における「清水いはらフェス」の位置付けを考える＞

- ・社会実験イベントとして誕生させた「清水いはらフェス」は、①地域内の人のネットワーク形成、②年少者から年配者の各層世代間交流、③国内外他地域との交流促進などの効果が期待されるものであり、庵原地区の従来の地域振興の取組にはなかった性格のイベントでもあることから、庵原地区連合自治会やまちづくり推進委員会とも今後のあり方について協議・共有する価値があると考えられる。

【社会実験として】

＜交流域拡大については課題があるものの、発信力・集客力のある舞台・企画であることを実証＞

- ・社会実験としての目的と照らし合せると、主目的の一つである「山梨・長野県方面からの来場者の意向把握」については、2回の社会実験を通じ、同方面からの来場者数は僅かしかなく、目的を果たせたとはいえず、特に南北軸での交流促進を意図し、山梨県や長野県の皆様がわざわざでも足を運んでみたいと思わせる仕掛けづくりの試行・チャレンジがまだまだ求められる。
- ・「地域の魅力発信」の点からは、特に第2回では主力農産物の柑橘類や天候に恵まれ高山から眺望をアピールできたこと、また「食とスポーツの里・清水いはら」を前面に出したこと等により、庵原ならではの良さや庵原の方向性を地域内外に発信できたのではないかと考える。
- ・「地元や関係機関等への機運醸成」に関しては、多くの地元住民が来場したほか、庵原球場をホームとしたプロ野球球団関係者の視察、マスコミの取材など、延2回の社会実験により、当該地域や道の駅を目指す取組への関心を高める場となったと思われる。

＜求めていく独自色あふれた「道の駅」の方向性がより具体化＞

- ・静岡市の北の玄関口（ゲートウェイ）として、①南北軸の「食」と「農」の発信、②「観光・交流」プログラム、③「眺望の魅力」発信事業、④「スポーツ・健康づくり」プログラム、⑤「広域防災」機能、⑥充実した「広報・サイト運営」の6本柱とする、この地ならではの「道の駅」の姿をより具体化することができた。

総括＝「道の駅構想の実現」に向けた今後の進め方のポイント

＜社会実験推進体制から道の駅整備による地域振興推進体制への転換へ＞

- ・現在の実行組織は社会実験を実施することを目的としたものであることから、延2回の実験の総括をもって、本来事業である道の駅整備、道の駅整備による地域振興を議論、推進する組織へ再構築する。
- ・再構築にあたって特に考慮すべきは、①公募を含め本気でやりたい人で構成する、②熱意と牽引力があり尚且つこの取組に専念できるリーダーの存在、③より負担増が見込まれる事務局体制の拡充の3点である。
- ・再構築後にまず取組むのは、①事業の理念（目的・目標）を再整理し組織・地域で共有する（「庵原をこんなまちにしたい」「そのためにこんな道の駅が必要」「庵原を起点とした清水区、静岡市の発展」など）、②想定される具体的な整備候補地を絞り込む、③「（仮称）清水いはら道の駅構想」としての骨組みの大枠を整理する、の3点ともいえる。
- ・また、延2回の社会実験の結果報告に「（仮称）清水いはら道の駅構想」という物語の骨子を添えて、行政に対し提言するとともに、地域と行政が連携した協議会（または研究会）組織の創設を要望する。
- ・行政と連携した組織では、①物語の骨子の肉付け（基本コンセプト、設置場所、運営組織、具体的機能、期待される経済効果・地域振興効果など）、②清水いはらIC、県道清水富士宮バイパスの利用量拡大策の策定、③北のゲートウェイとして山梨県・長野県等との人・物・情報の交流拡大策の策定、④前項を含め実現可能性の検証などの研究・協議を深化させる。

《参考》

第2回社会実験では、来場者アンケートを通じて、大変多くのご意見をいただきました。特に第1回のアンケートでは見られなかったのですが、「道の駅」に言及した意見を多くいただきました。「清水いはらフェス」(イベント)に対する意見も合わせ、抜粋して紹介します。

来場者アンケート (自由記載欄)

【「(仮称) 清水いはら道の駅」整備に対する期待・その他意見】

- ・新聞を見て初めて来ました。天気も良くよかったです。早く道の駅ができることを望みます。静岡清水方面には裾野からよく来ますが、これからは「いはら」にも寄ってみます。ガンバって下さい(静岡県・60代～)。
- ・舞台が設置されており、表現の場があったことがとてもよかったです。今後小中学校で「いはら学」の学習が進み、児童生徒が庵原の良さを発信する場が「道の駅」内にできるとよいと思いました(清水区・40～50代)。
- ・道の駅楽しみにしています。実現できると嬉しいです。以前、千葉の久保田山の道の駅に行くととても楽しかったです(清水区・20～30代)。
- ・SNSで知り、是非、清水に道の駅ができることを楽しみにしています(静岡市・40～50代)。
- ・皆の期待度が高いと思います(清水区・60代～)。
- ・是非またやってください。道の駅の常設を求めます(清水区・40～50代)。
- ・庵原地区の方々の熱意を感じます。これからの時代、この地元愛を大切にしたいですね(清水区・40～50代)。
- ・地元が盛り上がるのはうれしい。是非、道の駅ができてほしい(清水区・20～30代)。
- ・頑張してほしい。庵原を盛り上げてほしい(清水区・60代～)。
- ・「道の駅」中途半端な施設でなく、広く大きなもの！(清水区・60代～)。
- ・駐車場が少ない。道の駅にしたいのなら今の10倍欲しい(静岡市・40～50代)。
- ・早く場所を具体的に知りたい(清水区・60代～)。
- ・ETC20で下りれると良い(清水区・20～30代)。
- ・(清水いはら) インターの利用者が少ないので集客が見込めるか疑問です(清水区・40～50代)。
- ・「道の駅」の定義は国道沿い。「道の駅」ではなくいはらフェスを前面に出してもいいのでは(清水区・60代～)。

【「清水いはらフェス」に対する期待・その他意見】

- ・最高の盛り上がりです、またやってほしい。出店者が増えると楽しくなる。駐車場の誘導も安心できました。スタッフの皆さんお疲れ様です(静岡市・40～50代)。
- ・前回より規模が大きくなり準備が大変だったと思いますが、天気も良く青空の下で開催することができてお疲れ様でした(清水区・60代～)。
- ・たくさんの種類の農産物があり、とても楽しかったです。ミカンやお茶の詰め放題が大変にぎわっていて活気がありました。度々開催してほしいです(清水区・40～50代)。
- ・ポンカン詰め放題に燃えました。雰囲気も良かった。甘くて安い。楽しかったです。来年も来ます(静岡市・60代～)。
- ・子供も大人も楽しめるのでいいなと思いました。わが家ではいろいろ行くのですが、ここはすごくお店も安く良かったです(静岡県・19歳以下)。
- ・音楽イベントは参加者が人を呼ぶのでお客さんが増えると思う。その他ダンスなども。雨でも困らない場所作り(静岡市・60代～)。
- ・1回目を知らなくて残念。イベント大好き、音楽大好き、新聞等で情報が見られたらと思います。楽しみにしています(清水区・60代～)。
- ・定期的にやってほしい(清水区・20～30代)。
- ・せめて4シーズンごとで開催してほしいです！楽しかった(清水区・40～50代)。
- ・同日、清水駅前銀座でサンバのイベントをやっています。山・港の連携の取れたつながりを活かして今後企画されると、更に良いイベントになると思います(清水区・40～50代)。
- ・駐車場がとても混雑した。受付が混み合った。もっと広いイートインスペースがほしい(シートを敷けるところなど)(清水区・20～30代)